

安全上のご注意

■ 次の医療用電子機器を使用している場合は、本製品を使用しない

医療用電子機器が誤作動する原因

- ・ペースメーカー等の体内植込型医療用電子機器
- ・人工心肺等の生命維持用医療用電子機器
- ・心電計等の装着型医療用電子機器

P. 1~5

■ 次に該当する場合は使用しない

肌等身体に関わる事故やトラブルの原因

- ・医師の治療を受けている
- ・12歳未満
- ・急性疾患
- ・結核性疾患
- ・発熱している
- ・高血圧
- ・伝染性疾患
- ・悪性疾患
- ・アレルギー体質
- ・内臓疾患
- ・皮膚病
- ・アトピー性皮膚炎
- ・敏感肌または肌が弱い
- ・疲労している
- ・皮膚にトラブルがある
- ・体調がすぐれない
- ・酒気帯び
- ・眠気をさそう薬を服用している
- ・生理中、妊娠中、授乳中
- ・物理的刺激等による病的なシミがある
- ・糖尿病
- ・心臓疾患
- ・出血性疾患
- ・ステロイド等の薬を継続的に使用している
- ・肝機能障害で毛細血管拡張を起こしている
- ・除毛や脱毛をした当日
- ・日焼け直後、ピーリング直後
- ・自分で意思表示できない
- ・温度の感覚が鈍い

■ 次の部分には使用しない

肌等身体に関わる事故やトラブルの原因

- ・指定以外の部分
- ・上まぶた等目の上
- ・鼻、口の周り
- ・のど
- ・心臓の真上
- ・ひじ、ひざ、鎖骨、額等の皮膚の薄い部分
- ・骨のすぐ上
- ・へその真上
- ・静脈瘤のある部分
- ・外科手術(美容整形も含む)をした部分
- ・過度に日焼けをした部分
- ・体内に金属、シリコン、プラスチック等の器具を埋め込んでいる部分
- ・皮膚炎のある部分
- ・ウイルス性のイボのある部分
- ・脱毛処理後の赤み等がある部分
- ・傷、湿疹、腫れもの、ケロイドのある部分
- ・刺青(タトゥー)とその周辺部分

■ 次に該当する場合はフェイスに使用しない

肌等身体に関わる事故やトラブルの原因

- ・頭部や目に事故後の後遺症がある
- ・目の手術を行った
- ・網膜剥離
- ・強度の近視
- ・顔面の神経障害
- ・歯の治療中

■ 次に該当する場合は医師に相談する

- ・自己判断できない
- ・本製品の使用によって、肌に異常を感じた

※ P.00 は、取扱説明書の参照ページです。必ずご確認ください。

本体(操作面)のボタン、ランプについて

P. 7

● 電源/modeボタン

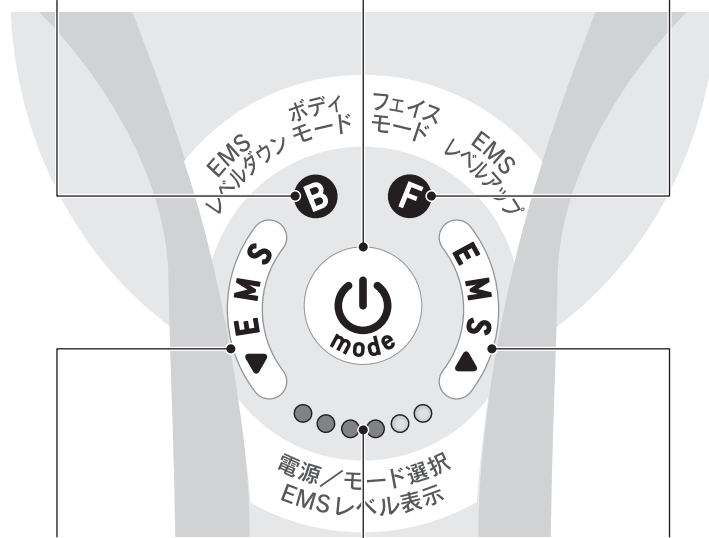
電源を入れる/切るとき、モードを選択するときに押します。

● ボディモードランプ

ボディモードを選択したときに青点灯します。

● フェイスモードランプ

フェイスモードを選択したときに青点灯します。



● EMSレベルダウンボタン

EMSの出力レベルを下げるときに押します。

● EMSレベルアップボタン

EMSの出力レベルを上げるとき、モードを確定するときに押します。

● EMSレベル表示ランプ

EMSの出力レベルに合わせて点灯します。(1~6)

※出力をオフ(出力レベル0)にもできます。出力をオフにすると、ランプがすべて消灯します。

使用できる化粧品

P. 13

○ 使用できるもの

- 通電用ジェル
- 油分を含まないジェル(基礎化粧品)
- 油分を含まない美容液
- 油分を含まない化粧水
- 刺激の少ない化粧水

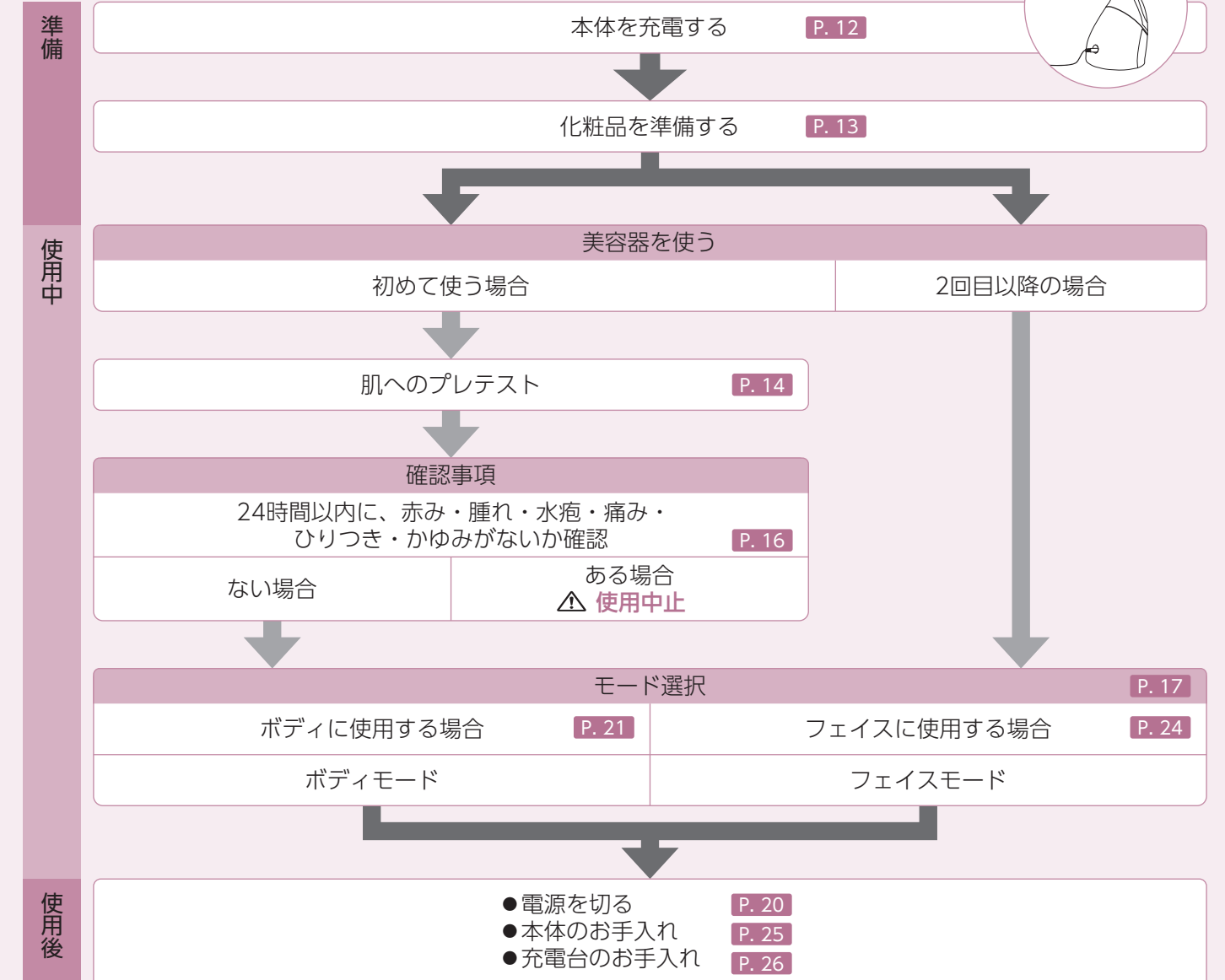
✕ 使用できないもの

- 油分を含むジェル・化粧水
- オイル
- クリーム
- 塩分やミネラル分を含む化粧水
- 刺激の強い化粧水
- スクラブ剤入り化粧品
- 洗顔料
- クレンジング
- ボディソープ
- 石けん類
- シートマスク
- メイク化粧品

※油分を含む化粧品を使用すると、本製品の機能が十分に発揮されません。

※化粧品の代わりに、シャワーや浴槽のお湯も使用できます。ただし、温泉水や入浴剤入りのお湯は使用しないでください。

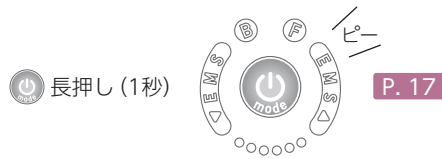
準備から使用までの流れ



ご使用の手順

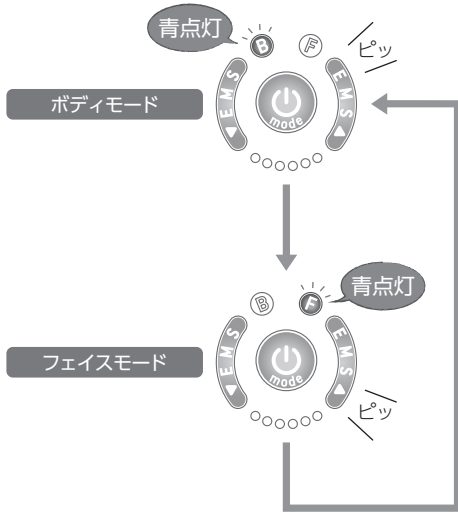
※初めて使用する場合は、肌へのプレテストを必ず行ってください。P.14

電源を入れる



モードを選択する

電源/modeボタンを短く押すたびに、モードが変わります。P.18



モードを確認し、出力を開始する



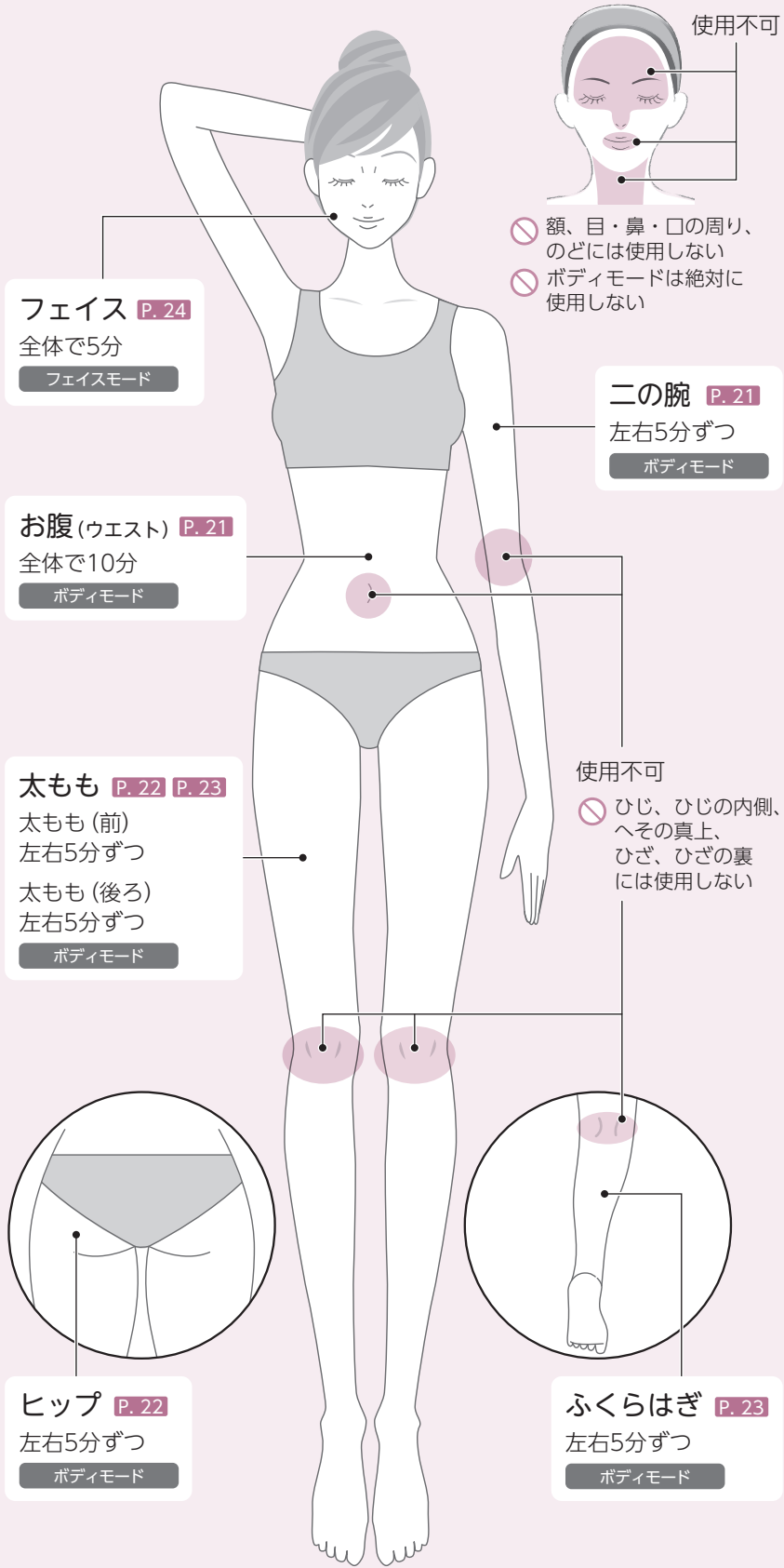
ボディ/フェイスに使用する

- EMSの出力レベルの初期値は1です。使用中、いつでも、EMSの出力レベルを調節できます。
- 確定後はモードを変更できません。一度電源を切ってから、再度モードを選択してください。

電源を切る



使用できる部位、お手入れ時間の目安



■使用頻度

- 全身で30分以内(1部位につき、ボディは10分以内、フェイスは5分以内)
- 1部位につき週2~3回*

※使用頻度の目安です。毎日使用される場合は、使用部位の肌を注意深く確認し、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。

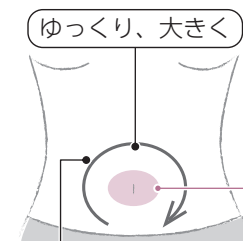
オススメのお手入れ例

- 【ご注意】 ●肌を清潔にし、使用する部位に必ず化粧品を塗ってください。お風呂で使用の場合は、お湯でたっぷりぬらしてください。化粧品の代わりに、シャワーや浴槽のお湯も使用できます。ただし、温泉水や入浴剤入りのお湯は使用しないでください。
- ご使用中は、絶えず肌の上を滑らせるように動かし続けてください。

お腹(ウエスト) P.21



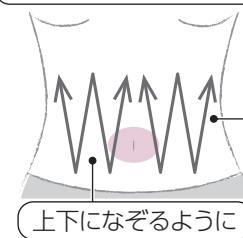
1



へそを中心に大きな円を描くように

2

お腹全体に化粧품을ムラなく塗るようなイメージで



上下になぞるように

3

わき腹の上の方、中央、下の方の3カ所を意識しながら



わき腹からお腹の中心に向けて

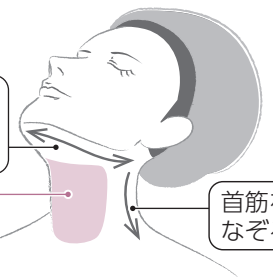
全体で10分

フェイス P.24



1

あご下をなぞるように

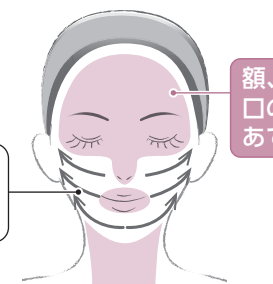


首筋をなぞるように

のどにあてない

2

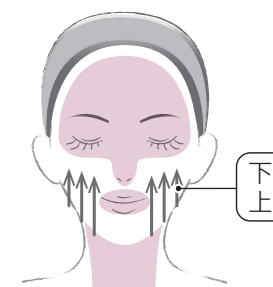
中心から外側に向けて



額、目、鼻、口の周りにあてない

3

下から上に向けて



全体で5分